板一中　小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）

板二だより

学校情報化優良校　・　ユネスコスクール認定校

板橋ｉカリキュラム活用実践校（読み解く力）

ユネスコ無形文化財（和食）に関するモデル授業校

板二小ホームページ　QR コード

令和　５年　９月　１日

板橋区立板橋第二小学校

校長　　小 澤　裕 行

令和５年度　９　月　号

子供たちの元気な声が戻ってきました　　校長　小澤　裕行

今年の夏は、猛暑日が続き、外で立っているだけでくらくらするほどの状態でした。１学期から熱中症指数が規定値を超え、外遊びが中止になったり、水泳指導が中止になったりと、例年では考えられないことも多々起こりました。夏休みに入っても暑さは続き、更に日本列島を横断した台風の影響で急に天候が変わるなど、体調管理には気を遣う夏でした。３カ月先までの天気予報によると、暑さは９月に入ってからも続くとのことですので、運動会に向けての体育の授業が盛んになる９月も暑さ対策をしながら教育活動を行って参ります。

表題の通り、本日いつものように登校時、校門に立っていると「おはようございます」と、１学期と変わらない元気な声が聞かれました。やはり学校には子供たちの声が似合うなと改めて感じました。何はともあれ、大きな事故や怪我なく夏休みを過ごし、本日登校してきてくれたことにうれしくもあり、安堵しています。

さて、毎年思うことですが、夏休み明けの子供たちを見ていると、びっくりすることがあります。体が一回り大きくなった子、顔つきが大人っぽくなった子、なにか堂々としている子、挨拶がはっきりできるようになってきた子、伝えたい内容を明らかにして会話ができるようになった子など、いろいろな点で成長を感じることができます。

私たち大人は、子供たち自身が成長するきっかけを与えるのが役目です。子供は大人が考える以上に、体験の機会や学習の場などのきっかけがあり、意欲がもてれば、自分で力を伸ばしていきます。

そういう意味でも、２学期は、運動会、音楽会、生活科・社会科見学、ゲストティーチャーによる授業などいろいろと体験の機会や学習の場が計画されており、子供たちが一段と成長する場面が多々あります。また学習面では、今まで学び・身に付けた知識や力を活用していく内容が多く設定されています。夏の間も、各担任から出された課題に取り組むだけでなく、各自が復習予習に取り組んでくれたことと思います。今まで身に付けたことを基に新たな内容を学び、身に付けていきます。

話は変わりますが、これからの学校教育で重要視されるものに、子供自身の自己決定力というものがあります。子供自身が考え判断し実行していくこととも言えます。教育活動のあらゆる場で重視されるのですが、その中で昨年度から板橋区では「学級活動（児童の話し合い活動）」を重視しています。児童自らが学級・学校生活にある様々な問題に気付き、そのことについて話し合い、児童自ら解決策を考え合意し、実践していきます。今年は学校でのきまり（ルール）の見直しも、赤松主任教諭を担当（推進）者として、各学級で子供自身に考えさせていきます。子供自身が考えた学校のきまりの見直しも、決まり次第学校便りでお知らせしていきます。

【お知らせ】

夏休みの間に学校内でも各種の工事が実施されました。大きなものとして「廊下等の照明の LED 化」です。明るさが以前と比べ違います。また感知式（人が通ると照明がつく）ですので、エコにも配慮されています。